

授業形態	講義	課程	文化・教養専門課程	学科	通訳・ガイド学科		
		科目名	グローバルコミュニケーション	担当教員	井ノ上節子 黒図幸恵		
		開講期	1年前期(120)後期(120) 2年前期(120)後期(120)	時間数	480	科目区分	必須
【授業概要】							
国際化が進行する社会にあつて、多様で包括的な文化を志向する態度を育成しつつ、次世代の文化の担い手としての受信及び発信力を高めることを主要な目標とする。 授業においては、やさしい日本語を用いつつ、さまざまな場面におけるコミュニケーション能力を養っていく。グループワークを設定し、協調性と共に、物事に主体的に取り組む姿勢を育成していく。							
【到達目標】							
1、「やさしい日本語」を用いて、災害時ばかりでなくあらゆる場面での伝える力を高める。 2、さまざまな情報から、必要な情報を取捨選択し、他者とのコミュニケーションに生かせるようにする。 3、グループにおける活動を通して、目的達成に必要な手順を考えたり、論理的に意見をまとめて相手に伝える力を養う。							
【授業計画・方法】							
各回の授業時数を2時間とする。 パワーポイント、板書、講義形式の他、さまざまな表現場面を設定する。 ロールプレイ、演劇を適宜実施する。							
第1回～第3回	まるごと初中級トピック①スポーツの試合その1 会話1、あいさつ 文法1、あいさつの言葉						
第4回～第6回	まるごと初中級トピック①スポーツの試合その2 会話2、自己紹介 文法2の1～てみて ～方						
第7回～第9回	まるごと初中級トピック②家をさがすその1 会話3、コンビニで 文法2の2 ～ので ～かどうか						
第10回～第12回	まるごと初中級トピック②家をさがすその2 会話4、デパートで 文法2の3 ～て ～たら						
第13回～第15回	まるごと初中級トピック③ほっとする食べ物その1 会話5、スーパーで 文法2の4 ～ないで						
第16回～第18回	まるごと初中級トピック③ほっとする食べ物その2 会話6、食事 文法3の1 ～された ～のに						
第19回～第21回	まるごと初中級トピック④訪問その1 会話7、電話・予約 文法3の2 ～てもいい ～あげる						
第22回～第24回	まるごと初中級トピック④訪問その2 会話8、ホテル①フロントで 文法4の1 ～たことが ～より						
第25回～第27回	まるごと初中級トピック⑤ことばを学ぶ楽しみその1 会話9、ホテル②客室で 文法4の2～がします						
第28回～第30回	まるごと初中級トピック⑤ことばを学ぶ楽しみその2 会話10、銀行で 文法5の1 ～らしいです						
第31回～第33回	まるごと初中級トピック⑥結婚その1 会話11、病院 文法5の2 ～ておきます ～かもしれません						
第34回～第36回	まるごと初中級トピック⑥結婚その2 会話12、交通① 文法6の1 ～ようだ ～んじゃない？						
第37回～第39回	まるごと初中級トピック⑦なやみ相談その1 会話13、交通② 文法6の2 ～そう ～ても						
第40回～第42回	まるごと初中級トピック⑦なやみ相談その2 会話14、観光 文法7の1 ～しろ ～な						
第43回～第45回	まるごと初中級トピック⑧旅行中のトラブルその1 会話15、トラブル①事故 文法7の2 ～ために						
第46回～第48回	まるごと初中級トピック⑧旅行中のトラブルその2 会話16、ガイド①道案内 文法8の1～でしょうか						
第49回～第51回	まるごと初中級トピック⑨仕事をさがすその1 会話17、生活 地域交流 文法8の2 ～のほうが						
第52回～第54回	まるごと初中級トピック⑨仕事をさがすその2 会話18、状況説明① 文法9の1 ～される						
第55回～第57回	まるごと初中級トピックの文法 まとめその1 会話19 状況説明② 文法9の2 ～ようになり						
第58回～第60回	まるごと初中級トピックの文法 まとめその2 会話20 前期まとめ 文法10 お～ください						
成績評価方法	授業内活動(参加態度、宿題、レポート等)40%、出席率40%、期末試験 20%						
教科書	まるごと初中級 まるごと中級B1 まるごと中級B2						
参考書	適宜、紹介する。						
授業に関連する実務経験				あり			

授業 形態	講義	課程	文化・教養専門課程	学科	通訳・ガイド学科		
		科目名	グローバルコミュニケーション	担当教員	井ノ上節子 黒図幸恵		
		開講期	1年前期(120)後期(120) 2年前期(120)後期(120)	時間数	480	科目区分	必須

【授業概要】

国際化が進行する社会にあって、多様で包括的な文化を志向する態度を育成しつつ、次世代の文化の担い手としての受信及び発信力を高めることを主要な目標とする。
授業においては、やさしい日本語を用いつつ、さまざまな場面におけるコミュニケーション能力を養っていく。グループワークを設定し、協調性と共に、物事に主体的に取り組む姿勢を育成していく。

【到達目標】

- 1、「やさしい日本語」を用いて、災害時ばかりでなくあらゆる場面での伝える力を高める。
- 2、さまざまな情報から、必要な情報を取捨選択し、他者とのコミュニケーションに生かせるようにする。
- 3、グループにおける活動を通して、目的達成に必要な手順を考えたり、論理的に意見をまとめて相手に伝える力を養う。

【授業計画・方法】

各回の授業時数を2時間とする。
パワーポイント、板書、講義形式の他、さまざまな表現場面を設定する。
ロールプレイ、演劇を適宜実施する。

第61回～第63回	まるごと中級1トピック⑪はじめての人と その1	会話21、自己紹介②	文法11の1～ように言われた。
第64回～第66回	まるごと中級1トピック⑪はじめての人と その2	会話22、接客①	文法11の2 ～ということ
第67回～第69回	まるごと中級1トピック⑪はじめての人と その3	会話23、接客②	文法11の3 ～と
第70回～第72回	まるごと中級1トピック⑫おすすめの料理その1	会話24、接客③	文法11の4 ～ていく ～なら
第73回～第75回	まるごと中級1トピック⑫おすすめの料理その2	会話25、接客④	文法12の1 ～せてもらった
第76回～第78回	まるごと中級1トピック⑫おすすめの料理その3	会話26、接客⑤	文法12の2 ～たとたん
第79回～第81回	まるごと中級1トピック⑬私の好きな音楽その1	会話27、接客⑥	文法12の3 ～ろうとする
第82回～第84回	まるごと中級1トピック⑬私の好きな音楽その2	会話28、接客⑦	文法12の4 ～られてしまう
第85回～第87回	まるごと中級1トピック⑭温泉に行こう その1	会話29、接客⑧	文法13の1 ～による
第88回～第90回	まるごと中級1トピック⑭温泉に行こう その2	会話30、接客⑨	文法13の2 ～につき
第91回～第93回	まるごと中級1トピック⑭温泉に行こう その3	会話31、接客⑩	文法13の3 ～を通して
第94回～第96回	まるごと中級1トピック⑭温泉に行こう その4	会話32 接客⑪	文法13の4 ～について
第97回～第99回	まるごと中級1トピック⑮最近どう その1	会話33 接客⑫	文法14の1 ～なきゃ
第100回～第102回	まるごと中級1トピック⑮最近どう その2	会話34 トラブル②	文法14の2 ～たりして
第103回～第105回	まるごと中級1トピック⑮最近どう その3	会話35 ガイド②	文法14の3 ～たって
第106回～第108回	まるごと中級1トピック⑯マンガを読もう その1	会話36 ガイド③	文法14の4 ～ばかりだった
第109回～第111回	まるごと中級1トピック⑯マンガを読もう その2	会話37 状況説明③	文法15の1 ～はもちろん
第112回～第114回	まるごと中級1トピック⑯マンガを読もう その3	会話38 状況説明④	文法15の2 ～かわりに
第115回～第117回	まるごと中級1トピック⑰武道に挑戦 その1	会話39 状況説明⑤	文法15の3 ～まま
第118回～第120回	まるごと中級1トピック⑰武道に挑戦 その2	会話40 まとめ	文法15の4 ～ところへ

成績評価方法	授業内活動(参加態度、宿題、レポート等)40%、出席率40%、期末試験 20%		
教科書	まるごと初中級	まるごと中級B1	まるごと中級B2
参考書	適宜、紹介する。		

授業に関連する実務経験 あり

授業形態	講義	課程	文化・教養専門課程	学科	通訳・ガイド学科		
		科目名	グローバルコミュニケーション	担当教員	井ノ上節子 黒図幸恵		
		開講期	1年前期(120)後期(120) 2年前期(120)後期(120)	時間数	480	科目区分	必須
【授業概要】							
国際化が進行する社会にあって、多様で包括的な文化を志向する態度を育成しつつ、次世代の文化の担い手としての受信及び発信力を高めることを主要な目標とする。 授業においては、やさしい日本語を用いつつ、さまざまな場面におけるコミュニケーション能力を養っていく。グループワークを設定し、協調性と共に、物事に主体的に取り組む姿勢を育成していく。							
【到達目標】							
1、「やさしい日本語」を用いて、災害時ばかりでなくあらゆる場面での伝える力を高める。 2、さまざまな情報から、必要な情報を取捨選択し、他者とのコミュニケーションに生かせるようにする。 3、グループにおける活動を通して、目的達成に必要な手順を考えたり、論理的に意見をまとめて相手に伝える力を養う。							
【授業計画・方法】							
各回の授業時数を2時間とする。 パワーポイント、板書、講義形式の他、さまざまな表現場面を設定する。 ロールプレイ、演劇を適宜実施する。							
第181回～第183回	まるごと中級2トピック②これが欲しい その1	会話61 接客⑬	文法22の1	～を問わず			
第184回～第186回	まるごと中級2トピック②これが欲しい その2	会話62 接客⑭	文法22の2	～に応じ			
第187回～第189回	まるごと中級2トピック②これが欲しい その3	会話63 接客⑮	文法22の3	～にかかわらず			
第190回～第192回	まるごと中級2トピック⑦お気に入りの映画 その1	会話64 接客⑯	文法22の4	～のこと			
第193回～第195回	まるごと中級2トピック⑦お気に入りの映画 その2	会話65 接客⑰	文法23の1	～以来			
第196回～第198回	まるごと中級2トピック⑦お気に入りの映画 その3	会話66 接客⑱	文法23の2	～うえで			
第199回～第201回	まるごと中級2トピック⑧私の街の交通機関 その1	会話67 接客⑲	文法23の3	～を～とした			
第202回～第204回	まるごと中級2トピック⑧私の街の交通機関 その2	会話68 接客⑳	文法23の4	～からには			
第205回～第207回	まるごと中級2トピック⑧私の街の交通機関 その3	会話69 接客㉑	文法24の1	～はともかく			
第208回～第209回	まるごと中級2トピック⑨忍者、侍、その頃は…その1	会話70 接客㉒	文法24の2	～というより			
第211回～第213回	まるごと中級2トピック⑨忍者、侍、その頃は…その2	会話71 接客㉓	文法25の1	～つつ			
第214回～第216回	まるごと中級2トピック⑨忍者、侍、その頃は…その3	会話72 接客㉔	文法25の2	～とともに			
第217回～第219回	まるごと中級2トピック㉑～㉒ふりかえり①	会話73 接客㉕	文法 26の1	～ものの			
第220回～第222回	まるごと中級2トピック㉑～㉒ふりかえり②	会話74 接客㉖	文法26の2	～にしては			
第223回～第225回	まるごと中級2トピック㉑～㉒ふりかえり③	会話75 接客㉗	文法26の3	～さえ～ば			
第226回～第228回	まるごと中級2トピック㉑～㉒ふりかえり④	会話76 接客㉘	文法26の4	～あげく			
第229回～第231回	まるごと中級2トピック㉑～㉒ふりかえり⑤	会話77 接客㉙	文法27の1	～くらべて			
第232回～第244回	まるごと中級2トピック㉑～㉒ふりかえり⑥	会話78 状況説明⑧	文法27の2	～のみだ			
第235回～第237回	まるごと中級2トピック㉑～㉒ふりかえり⑦	会話79 状況説明⑨	文法27の3	～つもりで			
第238回～第240回	まるごと中級2トピック㉑～㉒ふりかえり⑧	会話80 まとめ	文法	まとめ			
成績評価方法	授業内活動(参加態度、宿題、レポート等)40%、出席率40%、期末試験 20%						
教科書	まるごと初中級 まるごと中級B1 まるごと中級B2						
参考書	適宜、紹介する。						
授業に関連する実務経験		あり					

授業形態	講義	課程	文化・教養専門課程	学科	通訳・ガイド学科		
		科目名	グローバルコミュニケーション	担当教員	井ノ上節子 黒図幸恵		
		開講期	1年前期(120)後期(120) 2年前期(120)後期(120)	時間数	480	科目区分	必須
【授業概要】							
国際化が進行する社会にあって、多様で包括的な文化を志向する態度を育成しつつ、次世代の文化の担い手としての受信及び発信力を高めることを主要な目標とする。 授業においては、やさしい日本語を用いつつ、さまざまな場面におけるコミュニケーション能力を養っていく。グループワークを設定し、協調性と共に、物事に主体的に取り組む姿勢を育成していく。							
【到達目標】							
1、「やさしい日本語」を用いて、災害時ばかりでなくあらゆる場面での伝える力を高める。 2、さまざまな情報から、必要な情報を取捨選択し、他者とのコミュニケーションに生かせるようにする。 3、グループにおける活動を通して、目的達成に必要な手順を考えたり、論理的に意見をまとめて相手に伝える力を養う。							
【授業計画・方法】							
各回の授業時数を2時間とする。 パワーポイント、板書、講義形式の他、さまざまな表現場面を設定する。 ロールプレイ、演劇を適宜実施する。							
第121回～第123回	まるごと中級1トピック⑩便利な道具	その1	会話41	あいさつ②	文法16の1	～のおかげで	
第124回～第126回	まるごと中級1トピック⑩便利な道具	その2	会話42	あいさつ③	文法16の2	～という	
第127回～第129回	まるごと中級1トピック⑩便利な道具	その3	会話43	自己アピール	文法16の3	～による	
第130回～第132回	まるごと中級1トピック⑪伝統的な祭り	その1	会話44	就活①	文法16の4	～たびに	
第133回～第135回	まるごと中級1トピック⑪伝統的な祭り	その2	会話45	就活②	文法17の1	～てきた	
第136回～第138回	まるごと中級1トピック⑪伝統的な祭り	その3	会話46	就活③	文法17の2	～かと思っています	
第139回～第141回	まるごと中級トピック⑪～⑱の文法まとめ1	会話47	履歴書	文法17の3	～うちに		
第142回～第144回	まるごと中級トピック⑪～⑱の文法まとめ2	会話48	面接①	文法17の4	～ばいいのに		
第145回～第147回	まるごと中級2トピック⑲どんな人？その1	会話49	面接②	文法18の1	～させていただきます		
第148回～第150回	まるごと中級2トピック⑲どんな人？その2	会話50	面接③	文法19の1	～かのように		
第151回～第153回	まるごと中級2トピック⑲どんな人？その3	n 会話51	生活①	文法19の2	～向けに		
第154回～第156回	まるごと中級2トピック⑳富士登山	その1	会話52	生活②	文法19の3	～最中に	
第157回～第159回	まるごと中級2トピック⑳富士登山	その2	会話53	トラブル①	文法19の4	～かけの	
第160回～第162回	まるごと中級2トピック⑳富士登山	その3	会話54	トラブル②	文法20の1	～わけがない	
第163回～第165回	まるごと中級2トピック㉑健康的な生活	その1	会話55	トラブル③	文法20の2	～とは限らない	
第166回～第168回	まるごと中級2トピック㉑健康的な生活	その2	会話56	観光②	文法20の3	～くせに	
第169回～第171回	まるごと中級2トピック㉑健康的な生活	その3	会話57	観光③	文法20の4	～のせいで	
第172回～第174回	まるごと中級2トピック㉒舞台を見るなら	その1	会話58	状況説明⑥	文法21の1	～てなんか～ない	
第175回～第177回	まるごと中級2トピック㉒舞台を見るなら	その2	会話59	状況説明⑦	文法21の2	～っぱなし	
第178回～第180回	まるごと中級2トピック㉒舞台を見るなら	その3	会話60	前期のまとめ	文法21の3	～だらけ	
成績評価方法	授業内活動(参加態度、宿題、レポート等)40%、出席率40%、期末試験 20%						
教科書	まるごと初中級 まるごと中級B1 まるごと中級B2						
参考書	適宜、紹介する。						
授業に関連する実務経験			あり				

授業 形態	講義	課程	文化・教養専門課程	学科	通訳・ガイド学科		
		科目名	ガイドのための英語 (2年後期)	担当教員	本間 睦美		
		開講期	1年前期(80)・後期(80) 2年前期(80)・後期(80)	時間数	80/320	科目区分	必須

【授業概要】

- ・観光及び接客のさまざまな場面で使用される基本的な表現と重要語句を学ぶ。
- ・会話やロールプレイなどの活動を通して、自然な文脈で使用される実践的な英語コミュニケーション能力を養う。
- ・基本的な日本の事象について、簡単な英語で説明する。

【到達目標】

- ・テキストのレベルに合わせた、読み・書き・聞き取りを合わせた英語によるコミュニケーションの基礎的な能力を身につける。
- ・通訳ガイドに必要な日本の事象について理解し、英語で表現できる。

【授業計画・方法】

- ・PC、書画カメラ、板書等を用いた講義形式をメインとする。
- ・ガイドとしての必要な知識についての調べ学習を行い、プレゼンテーションやガイドのロールプレイを行う。
- ・観光の持つ様々な側面を事例を用いて解説し、討論も行う。

第1・2回	接客英会話(宿泊・観光・交通関係の表現)・日本の事象(スポーツ・娯楽)
第3・4回	接客英会話(宿泊・観光・交通関係の表現)・日本の事象(スポーツ・娯楽)
第5・6回	接客英会話(宿泊・観光・交通関係の表現)・日本の事象(スポーツ・娯楽)
第7・8回	接客英会話(宿泊・観光・交通関係の表現)・日本の事象(スポーツ・娯楽)
第9・10回	接客英会話(宿泊・観光・交通関係の表現)・日本の事象(スポーツ・娯楽)
第11・12回	接客英会話(宿泊・観光・交通関係の表現)・日本の事象(スポーツ・娯楽)
第13・14回	接客英会話(宿泊・観光・交通関係の表現)・日本の事象(スポーツ・娯楽)
第15・16回	接客英会話(宿泊・観光・交通関係の表現)・日本の事象(スポーツ・娯楽)
第17・18回	接客英会話(宿泊・観光・交通関係の表現)・日本の事象(スポーツ・娯楽に関わる調べ学習、発表)
第19・20回	接客英会話(宿泊・観光・交通関係の表現)・日本の事象(スポーツ・娯楽に関わる調べ学習、発表)
第21・22回	接客英会話(共通・雑談・その他の表現)・日本の事象(舞台芸術・音楽)
第23・24回	接客英会話(共通・雑談・その他の表現)・日本の事象(舞台芸術・音楽)
第25・26回	接客英会話(共通・雑談・その他の表現)・日本の事象(舞台芸術・音楽)
第27・28回	接客英会話(共通・雑談・その他の表現)・日本の事象(舞台芸術・音楽)
第29・30回	接客英会話(共通・雑談・その他の表現)・日本の事象(舞台芸術・音楽)
第31・32回	接客英会話(共通・雑談・その他の表現)・日本の事象(舞台芸術・音楽)
第33・34回	接客英会話(共通・雑談・その他の表現)・日本の事象(舞台芸術・音楽)
第35・36回	接客英会話(共通・雑談・その他の表現)・日本の事象(舞台芸術・音楽)
第37・38回	接客英会話(共通・雑談・その他の表現)・日本の事象(舞台芸術・音楽に関わる調べ学習、発表)
第39・40回	接客英会話(共通・雑談・その他の表現)・日本の事象(舞台芸術・音楽に関わる調べ学習、発表)

成績評価方法	授業内活動(参加態度、宿題、レポート等)40%、出席率40%、期末試験 20%
教科書	「日本の事象英文説明300選」(ハロー通訳アカデミー)
参考書	適宜、紹介する。

授業に関連する実務経験 ☒ あり

授業形態	講義	課程	文化・教養専門課程	学科	通訳・ガイド学科		
		科目名	ガイドのための英語 (2年前期)	担当教員	本間 睦美		
		開講期	1年前期(80)・後期(80) 2年前期(80)・後期(80)	時間数	80/320	科目区分	必須
【授業概要】							
・観光及び接客のさまざまな場面で使用される基本的な表現と重要語句を学ぶ。 ・会話やロールプレイなどの活動を通して、自然な文脈で使用される実践的な英語コミュニケーション能力を養う。 ・基本的な日本の事象について、簡単な英語で説明する。							
【到達目標】							
・テキストのレベルに合わせた、読み・書き・聞き取りを合わせた英語によるコミュニケーションの基礎的な能力を身につける。 ・通訳ガイドに必要な日本の事象について理解し、英語で表現できる。							
【授業計画・方法】							
・PC、書画カメラ、板書等を用いた講義形式をメインとする。 ・ガイドとしての必要な知識についての調べ学習を行い、プレゼンテーションやガイドのロールプレイを行う。 ・観光の持つ様々な側面を事例を用いて解説し、討論も行う。							
第1・2回	接客英会話(販売関係の表現)・日本の事象(美術・工芸)						
第3・4回	接客英会話(販売関係の表現)・日本の事象(美術・工芸)						
第5・6回	接客英会話(販売関係の表現)・日本の事象(美術・工芸)						
第7・8回	接客英会話(販売関係の表現)・日本の事象(美術・工芸)						
第9・10回	接客英会話(販売関係の表現)・日本の事象(美術・工芸)						
第11・12回	接客英会話(販売関係の表現)・日本の事象(美術・工芸)						
第13・14回	接客英会話(販売関係の表現)・日本の事象(美術・工芸)						
第15・16回	接客英会話(販売関係の表現)・日本の事象(美術・工芸)						
第17・18回	接客英会話(販売関係の表現)・日本の事象(美術・工芸)						
第19・20回	接客英会話(販売関係の表現)・日本の事象(美術・工芸に関する調べ学習、発表)						
第21・22回	接客英会話(宿泊・観光・交通関係の表現)・日本の事象(地理歴史・観光)						
第23・24回	接客英会話(宿泊・観光・交通関係の表現)・日本の事象(地理歴史・観光)						
第25・26回	接客英会話(宿泊・観光・交通関係の表現)・日本の事象(地理歴史・観光)						
第27・28回	接客英会話(宿泊・観光・交通関係の表現)・日本の事象(地理歴史・観光)						
第29・30回	接客英会話(宿泊・観光・交通関係の表現)・日本の事象(地理歴史・観光)						
第31・32回	接客英会話(宿泊・観光・交通関係の表現)・日本の事象(地理歴史・観光)						
第33・34回	接客英会話(宿泊・観光・交通関係の表現)・日本の事象(地理歴史・観光)						
第35・36回	接客英会話(宿泊・観光・交通関係の表現)・日本の事象(地理歴史・観光)						
第37・38回	接客英会話(宿泊・観光・交通関係の表現)・日本の事象(地理歴史・観光に関する調べ学習、発表)						
第39・40回	接客英会話(宿泊・観光・交通関係の表現)・日本の事象(地理歴史・観光に関する調べ学習、発表)						
成績評価方法	授業内活動(参加態度、宿題、レポート等)40%、出席率40%、期末試験 20%						
教科書	「日本の事象英文説明300選」(ハロー通訳アカデミー)						
参考書	適宜、紹介する。						
授業に関連する実務経験				あり			

授業 形態	講義	課程	文化・教養専門課程	学科	通訳・ガイド学科		
		科目名	ガイドのための英語 (1年前期)	担当教員	本間 睦美		
		開講期	1年前期(80)・後期(80) 2年前期(80)・後期(80)	時間数	80/320	科目区分	必須

【授業概要】

- ・観光及び接客のさまざまな場面で使用される基本的な表現と重要語句を学ぶ。
- ・会話やロールプレイなどの活動を通して、自然な文脈で使われる実践的な英語コミュニケーション能力を養う。
- ・基本的な日本の事象について、簡単な英語で説明する。

【到達目標】

- ・テキストのレベルに合わせた、読み・書き・聞き取りを合わせた英語によるコミュニケーションの基礎的な能力を身につける。
- ・通訳ガイドに必要な日本の事象について理解し、英語で表現できる。

【授業計画・方法】

- ・PC、書画カメラ、板書等を用いた講義形式をメインとする。
- ・ガイドとしての必要な知識についての調べ学習を行い、プレゼンテーションやガイドのロールプレイを行う。
- ・観光の持つ様々な側面を事例を用いて解説し、討論も行う。

第1・2回	接客英会話(基本フレーズ)・日本の事象(生活様式)
第3・4回	接客英会話(基本フレーズ)・日本の事象(生活様式)
第5・6回	接客英会話(基本フレーズ)・日本の事象(生活様式)
第7・8回	接客英会話(基本フレーズ)・日本の事象(生活様式)
第9・10回	接客英会話(基本フレーズ)・日本の事象(生活様式)
第11・12回	接客英会話(基本フレーズ)・日本の事象(生活様式)
第13・14回	接客英会話(基本フレーズ)・日本の事象(生活様式)
第15・16回	接客英会話(基本フレーズ)・日本の事象(生活様式)
第17・18回	接客英会話(基本フレーズ)・日本の事象(生活様式に関する調べ学習、発表)
第19・20回	接客英会話(基本フレーズ)・日本の事象(生活様式に関する調べ学習、発表)
第21・22回	接客英会話(飲食関係の表現)・日本の事象(料理、食事)
第23・24回	接客英会話(飲食関係の表現)・日本の事象(料理、食事)
第25・26回	接客英会話(飲食関係の表現)・日本の事象(料理、食事)
第27・28回	接客英会話(飲食関係の表現)・日本の事象(料理、食事)
第29・30回	接客英会話(飲食関係の表現)・日本の事象(料理、食事)
第31・32回	接客英会話(飲食関係の表現)・日本の事象(料理、食事)
第33・34回	接客英会話(飲食関係の表現)・日本の事象(料理、食事)
第35・36回	接客英会話(飲食関係の表現)・日本の事象(料理、食事)
第37・38回	接客英会話(飲食関係の表現)・日本の事象(料理、食事に関する調べ学習、発表)
第39・40回	接客英会話(飲食関係の表現)・日本の事象(料理、食事に関する調べ学習、発表)

成績評価方法	授業内活動(参加態度、宿題、レポート等)40%、出席率40%、期末試験 20%
教科書	「日本の事象英文説明300選」(ハロー通訳アカデミー)
参考書	適宜、紹介する。

授業に関連する実務経験 **あり**

授業形態	講義	課程	文化・教養専門課程	学科	通訳・ガイド学科		
		科目名	ガイドのための英語 (1年後期)	担当教員	本間 睦美		
		開講期	1年前期(80)・後期(80) 2年前期(80)・後期(80)	時間数	80/320	科目区分	必須
【授業概要】							
・観光及び接客のさまざまな場面で使用される基本的な表現と重要語句を学ぶ。 ・会話やロールプレイなどの活動を通して、自然な文脈で使用される実践的な英語コミュニケーション能力を養う。 ・基本的な日本の事象について、簡単な英語で説明する。							
【到達目標】							
・テキストのレベルに合わせた、読み・書き・聞き取りを合わせた英語によるコミュニケーションの基礎的な能力を身につける。 ・通訳ガイドに必要な日本の事象について理解し、英語で表現できる。							
【授業計画・方法】							
・PC、書画カメラ、板書等を用いた講義形式をメインとする。 ・ガイドとしての必要な知識についての調べ学習を行い、プレゼンテーションやガイドのロールプレイを行う。 ・観光の持つ様々な側面を事例を用いて解説し、討論も行う。							
第1・2回	接客英会話(飲食関係の表現)・日本の事象(宗教)						
第3・4回	接客英会話(飲食関係の表現)・日本の事象(宗教)						
第5・6回	接客英会話(飲食関係の表現)・日本の事象(宗教)						
第7・8回	接客英会話(飲食関係の表現)・日本の事象(宗教)						
第9・10回	接客英会話(飲食関係の表現)・日本の事象(宗教)						
第11・12回	接客英会話(飲食関係の表現)・日本の事象(宗教)						
第13・14回	接客英会話(飲食関係の表現)・日本の事象(宗教)						
第15・16回	接客英会話(飲食関係の表現)・日本の事象(宗教)						
第17・18回	接客英会話(飲食関係の表現)・日本の事象(宗教に関する調べ学習、発表)						
第19・20回	接客英会話(飲食関係の表現)・日本の事象(宗教に関する調べ学習、発表)						
第21・22回	接客英会話(販売関係の表現)・日本の事象(文化行事・祝祭日)						
第23・24回	接客英会話(販売関係の表現)・日本の事象(文化行事・祝祭日)						
第25・26回	接客英会話(販売関係の表現)・日本の事象(文化行事・祝祭日)						
第27・28回	接客英会話(販売関係の表現)・日本の事象(文化行事・祝祭日)						
第29・30回	接客英会話(販売関係の表現)・日本の事象(文化行事・祝祭日)						
第31・32回	接客英会話(販売関係の表現)・日本の事象(文化行事・祝祭日)						
第33・34回	接客英会話(販売関係の表現)・日本の事象(文化行事・祝祭日)						
第35・36回	接客英会話(販売関係の表現)・日本の事象(文化行事・祝祭日)						
第37・38回	接客英会話(販売関係の表現)・日本の事象(文化行事・祝祭日に関する調べ学習、発表)						
第39・40回	接客英会話(販売関係の表現)・日本の事象(文化行事・祝祭日に関する調べ学習、発表)						
成績評価方法	授業内活動(参加態度、宿題、レポート等)40%、出席率40%、期末試験 20%						
教科書	『日本の事象英文説明300選』(ハロー通訳アカデミー)						
参考書	適宜、紹介する。						
授業に関連する実務経験				あり			

授業形態	講義	課程	文化・教養専門課程	学科	通訳・ガイド学科		
		科目名	通訳ガイド	担当教員	増田 剛		
		開講期	1年前期(20)・後期(20) 2年前期(20)・後期(20)	時間数	80	科目区分	必須
【授業概要】							
通訳案内士の実務、内容について解説する。通訳案内士法をはじめとした関係法令について解説する。観光産業の中の通訳案内業としての業種であり、通訳案内士という職種であることを解説する。日本の政治や経済、文化について解説する。							
【到達目標】							
*【全国通訳案内士試験】の「通訳案内の実務」、「一般常識」科目の合格レベルの実力に対応できるようになること。 *ガイディング中の危機時、突発事案発生時に落ち着いて行動がとれるようになること。 *国別、宗教別の対応方法や、食事アレルギーなどへの対応も理解する。							
【授業計画・方法】							
パワーポイント、板書、講義形式をメインとする。 ガイディング中のトラブルを想定し、討論も行う。							
第21回	危機管理3						
第22回	危機管理4						
第23回	災害発生時の対応1						
第24回	災害発生時の対応2						
第25回	災害発生時の対応3						
第26回	災害発生時の対応4						
第27回	危機管理・災害時の情報						
第28回	コンプライアンス1						
第29回	コンプライアンス2						
第30回	コンプライアンス3						
第31回	コンプライアンス4						
第32回	事例検討1						
第33回	事例検討2						
第34回	事例検討3						
第35回	宗教上の注意点1						
第36回	宗教上の注意点2						
第37回	宗教上の注意点3						
第38回	食事制限の注意点1						
第39回	食事制限の注意点2						
第40回	飲食店での対応方法						
成績評価方法		授業内活動(参加態度、宿題、レポート等)50%、出席率50%					
教科書		特になし					
参考書		適宜、紹介する。					

授業に関連する実務経験	あり
-------------	----

授業形態	講義	課程	文化・教養専門課程	学科	通訳・ガイド学科		
		科目名	通訳ガイド	担当教員	増田 剛		
		開講期	1年前期(20)・後期(20) 2年前期(20)・後期(20)	時間数	80	科目区分	必須

【授業概要】

通訳案内士の実務、内容について解説する。通訳案内士法をはじめとした関係法令について解説する。観光産業の中の通訳案内業としての業種であり、通訳案内士という職種であることを解説する。日本の政治や経済、文化について解説する。

【到達目標】

- *【全国通訳案内士試験】の「通訳案内の実務」、「一般常識」科目の合格レベルの実力に対応できるようになること。
- *ガイディング中の危機時、突発事案発生時に落ち着いて行動がとれるようになること。
- *国別、宗教別の対応方法や、食事アレルギーなどへの対応も理解する。

【授業計画・方法】

パワーポイント、板書、講義形式をメインとする。
ガイディング中のトラブルを想定し、討論も行う。

第1回	概要・ガイド業とは
第2回	旅行業とは
第3回	通訳案内士、添乗員、バスガイドほか
第4回	通訳案内士法、案内士試験の改正
第5回	旅行業法、手配、交付書面、禁止行為
第6回	旅程管理業務、主任者、添乗員
第7回	旅程管理の必要性
第8回	お客様の把握・理解
第9回	外国人旅行者への配慮(日本文化の特性)
第10回	集合時間場所など
第11回	添乗の準備1
第12回	添乗の準備2
第13回	貸し切りバスでの添乗
第14回	列車での添乗
第15回	航空費・船舶の添乗
第16回	立寄り先観光・食事時
第17回	宿泊施設・お帰りまで
第18回	報告・精算
第19回	危機管理1・基本的考え
第20回	危機管理2・事前調査

成績評価方法	授業内活動(参加態度、宿題、レポート等)50%、出席率50%
教科書	特になし
参考書	適宜、紹介する。

授業に関連する実務経験 あり

授業 形態	講義	課程	文化・教養専門課程	学科	通訳・ガイド学科		
		科目名	通訳ガイド	担当教員	増田 剛		
		開講期	1年前期(20)・後期(20) 2年前期(20)・後期(20)	時間数	80	科目区分	必須

【授業概要】

通訳案内士の実務、内容について解説する。通訳案内士法をはじめとした関係法令について解説する。
観光産業の中の通訳案内業としての業種であり、通訳案内士という職種であることを解説する。日本の政治や経済、文化について解説する。

【到達目標】

- *【全国通訳案内士試験】の「通訳案内の実務」、「一般常識」科目の合格レベルの実力に対応できるようになること。
- *ガイディング中の危機時、突発事案発生時に落ち着いて行動がとれるようになること。
- *国別、宗教別の対応方法や、食事アレルギーなどへの対応も理解する。

【授業計画・方法】

パワーポイント、板書、講義形式をメインとする。
ガイディング中のトラブルを想定し、討論も行う。

第61回	栃木県の一般常識 1
第62回	栃木県の一般常識 2
第63回	栃木県の一般常識 3
第64回	栃木県の一般常識 4
第65回	県内の観光地 1
第66回	県内の観光地 2
第67回	県内の観光地 3
第68回	県内の観光地 4
第69回	県内の観光地 5
第70回	県内の観光地 6
第71回	通訳案内士試験(通訳ガイド実務、一般常識)過去問題解説など 1
第72回	通訳案内士試験(通訳ガイド実務、一般常識)過去問題解説など 2
第73回	通訳案内士試験(通訳ガイド実務、一般常識)過去問題解説など 3
第74回	通訳案内士試験(通訳ガイド実務、一般常識)過去問題解説など 4
第75回	通訳案内士試験(通訳ガイド実務、一般常識)過去問題解説など 5
第76回	通訳案内士試験(通訳ガイド実務、一般常識)過去問題解説など 6
第77回	通訳案内士試験(通訳ガイド実務、一般常識)過去問題解説など 7
第78回	通訳案内士試験(通訳ガイド実務、一般常識)過去問題解説など 8
第79回	通訳案内士試験(通訳ガイド実務、一般常識)過去問題解説など 9
第80回	通訳案内士試験(通訳ガイド実務、一般常識)過去問題解説など 10

成績評価方法	授業内活動(参加態度、宿題、レポート等)50%、出席率50%
教科書	特になし
参考書	適宜、紹介する。

授業に関連する実務経験 | あり

授業 形態	講義	課程	文化・教養専門課程	学科	通訳・ガイド学科		
		科目名	通訳ガイド	担当教員	増田 剛		
		開講期	1年前期(20)・後期(20) 2年前期(20)・後期(20)	時間数	80	科目区分	必須

【授業概要】

通訳案内士の実務、内容について解説する。通訳案内士法をはじめとした関係法令について解説する。観光産業の中の通訳案内業としての業種であり、通訳案内士という職種であることを解説する。日本の政治や経済、文化について解説する。

【到達目標】

- *【全国通訳案内士試験】の「通訳案内の実務」、「一般常識」科目の合格レベルの実力に対応できるようになること。
- *ガイディング中の危機時、突発事案発生時に落ち着いて行動がとれるようになること。
- *国別、宗教別の対応方法や、食事アレルギーなどへの対応も理解する。

【授業計画・方法】

パワーポイント、板書、講義形式をメインとする。
ガイディング中のトラブルを想定し、討論も行う。

第41回	国別対応 1
第42回	国別対応 2
第43回	国別対応 3
第44回	国別対応 4
第45回	一般常識 概要(政治経済、社会文化など)
第46回	日本の政治
第47回	日本の経済 1
第48回	日本の経済 2
第49回	日本の経済 3
第50回	日本の文化 1
第51回	日本の文化 2
第52回	観光の現状と課題 1
第53回	観光の現状と課題 2
第54回	観光公害
第55回	産業としての観光 1
第56回	産業としての観光 2
第57回	観光白書講読 1
第58回	観光白書講読 2
第59回	観光白書講読 3
第60回	観光白書講読 4

成績評価方法	授業内活動(参加態度、宿題、レポート等)50%、出席率50%
教科書	特になし
参考書	適宜、紹介する。

授業に関連する実務経験 あり

授業 形態	講義	課程	文化・教養専門課程	学科	通訳・ガイド学科		
		科目名	観光日本史	担当教員	増田 剛		
		開講期	1年前期(20)・後期(20) 2年前期(20)・後期(20)	時間数	80	科目区分	必須

【授業概要】

日本の成り立ちを古代から現代まで広く深く学習し、外国人旅行者に対し日本の歴史を伝えられる知識を持てるよう日本史を解説する。栃木県や日光の歴史についても解説する。
歴史とその他の分野を関連付ける等して俯瞰的に歴史を楽しめるよう解説する。各トピックに関連するビデオの視聴や文献資料の講読を行う。

【到達目標】

- * 国家試験【通訳案内士試験】の日本史科目合格レベルの実力に対応できるようになること。
- * 各時代の文化、政治、戦争、社会、主要人物等を総合的に学習し、受験に必要な標準的知識を獲得すること。
- * 「日本史」の面白さを相手に伝えることを目指して、単なる日本史に関する知識のインプットに終始せず、日光に関する歴史もからめつつ歴史を体感できるようにすること。
- * 各地域の観光スポットにおける文化財の歴史的背景を説明することができるようになること。

【授業計画・方法】

パワーポイント、板書、講義形式をメインとする。
史実や過去に起きた事件等を用いて解説し、討論も行う。

第21回	江戸時代 1
第22回	江戸時代 2
第23回	江戸時代 3
第24回	江戸時代 4
第25回	江戸・明治
第26回	明治 1
第27回	明治 2
第28回	明治・大正
第29回	大正・昭和
第30回	昭和 戦前 戦中 1
第31回	昭和 戦前 戦中 2
第32回	昭和 戦前 戦中 3
第33回	戦後 1
第34回	戦後 2
第35回	戦後 3
第36回	現在
第37回	日本の政治
第38回	日本と世界
第39回	テスト
第40回	各地の歴史

成績評価方法	授業内活動(参加態度、宿題、レポート等)40%、出席率40%、期末試験 20%
教科書	「新しい社会 歴史」
参考書	適宜、紹介する。

授業に関連する実務経験 **あり**

授業形態	講義	課程	文化・教養専門課程	学科	通訳・ガイド学科		
		科目名	観光日本史	担当教員	増田 剛		
		開講期	1年前期(20)・後期(20) 2年前期(20)・後期(20)	時間数	80	科目区分	必須

【授業概要】

日本の成り立ちを古代から現代まで広く深く学習し、外国人旅行者に対し日本の歴史を伝えられる知識を持てるよう日本史を解説する。栃木県や日光の歴史についても解説する。
歴史とその他の分野を関連付ける等して俯瞰的に歴史を楽しめるよう解説する。各トピックに関連するビデオの視聴や文献資料の講読を行う。

【到達目標】

- * 国家試験【通訳案内士試験】の日本史科目合格レベルの実力に対応できるようになること。
- * 各時代の文化、政治、戦争、社会、主要人物等を総合的に学習し、受験に必要な標準的知識を獲得すること。
- * 「日本史」の面白さを相手に伝えることを目指して、単なる日本史に関する知識のインプットに終始せず、日光に関する歴史もからめつつ歴史を体感できるようにすること。
- * 各地域の観光スポットにおける文化財の歴史的背景を説明することができるようになること。

【授業計画・方法】

パワーポイント、板書、講義形式をメインとする。
史実や過去に起きた事件等を用いて解説し、討論も行う。

第1回	歴史を学ぶ目的
第2回	学校の歴史と案内士の歴史の関係
第3回	国・国家とは、旧国名・旧地名・街道名
第4回	日本史の大まかな流れ
第5回	縄文
第6回	弥生
第7回	古墳・飛鳥
第8回	平城京
第9回	平安時代 1
第10回	平安時代 2
第11回	平安時代 3
第12回	鎌倉時代 1
第13回	鎌倉時代 2
第14回	鎌倉時代 3
第15回	室町時代 1
第16回	室町時代 2
第17回	室町・戦国
第18回	戦国時代
第19回	テスト
第20回	各地の歴史

成績評価方法	授業内活動(参加態度、宿題、レポート等)40%、出席率40%、期末試験 20%
教科書	「新しい社会 歴史」
参考書	適宜、紹介する。

授業に関連する実務経験 **あり**

授業形態	講義	課程	文化・教養専門課程	学科	通訳・ガイド学科		
		科目名	観光日本史	担当教員	増田 剛		
		開講期	1年前期(20)・後期(20) 2年前期(20)・後期(20)	時間数	80	科目区分	必須

【授業概要】

日本の成り立ちを古代から現代まで広く深く学習し、外国人旅行者に対し日本の歴史を伝えられる知識を持てるよう日本史を解説する。栃木県や日光の歴史についても解説する。
歴史とその他の分野を関連付ける等して俯瞰的に歴史を楽しめるよう解説する。各トピックに関連するビデオの視聴や文献資料の講読を行う。

【到達目標】

- * 国家試験【通訳案内士試験】の日本史科目合格レベルの実力に対応できるようになること。
- * 各時代の文化、政治、戦争、社会、主要人物等を総合的に学習し、受験に必要な標準的知識を獲得すること。
- * 「日本史」の面白さを相手に伝えることを目指して、単なる日本史に関する知識のインプットに終始せず、日光に関する歴史もからめつつ歴史を体感できるようにすること。
- * 各地域の観光スポットにおける文化財の歴史的背景を説明することができるようになること。

【授業計画・方法】

パワーポイント、板書、講義形式をメインとする。
史実や過去に起きた事件等を用いて解説し、討論も行う。

第61回	栃木県（下野）の歴史1
第62回	栃木県（下野）の歴史2
第63回	栃木県（下野）の歴史3
第64回	栃木県（下野）の歴史4
第65回	栃木県（下野）の歴史5
第66回	日光の歴史1
第67回	日光の歴史2
第68回	日光の歴史3
第69回	日光市鬼怒川地区の歴史1
第70回	日光市鬼怒川地区の歴史2
第71回	案内士試験(日本史)過去問題の解説等1
第72回	案内士試験(日本史)過去問題の解説等2
第73回	案内士試験(日本史)過去問題の解説等3
第74回	案内士試験(日本史)過去問題の解説等4
第75回	案内士試験(日本史)過去問題の解説等5
第76回	案内士試験(日本史)過去問題の解説等6
第77回	案内士試験(日本史)過去問題の解説等7
第78回	案内士試験(日本史)過去問題の解説等8
第79回	後期テスト
第80回	日本のこれから

成績評価方法	授業内活動(参加態度、宿題、レポート等)40%、出席率40%、期末試験 20%
教科書	「新しい社会 歴史」
参考書	適宜、紹介する。

授業に関連する実務経験	あり
-------------	----

授業形態	講義	課程	文化・教養専門課程	学科	通訳・ガイド学科		
		科目名	観光日本史	担当教員	増田 剛		
		開講期	1年前期(20)・後期(20) 2年前期(20)・後期(20)	時間数	80	科目区分	必須

【授業概要】

日本の成り立ちを古代から現代まで広く深く学習し、外国人旅行者に対し日本の歴史を伝えられる知識を持てるよう日本史を解説する。栃木県や日光の歴史についても解説する。
歴史とその他の分野を関連付ける等して俯瞰的に歴史を楽しめるよう解説する。各トピックに関連するビデオの視聴や文献資料の講読を行う。

【到達目標】

- * 国家試験【通訳案内士試験】の日本史科目合格レベルの実力に対応できるようになること。
- * 各時代の文化、政治、戦争、社会、主要人物等を総合的に学習し、受験に必要な標準的知識を獲得すること。
- * 「日本史」の面白さを相手に伝えることを目指して、単なる日本史に関する知識のインプットに終始せず、日光に関する歴史もからめつつ歴史を体感できるようにすること。
- * 各地域の観光スポットにおける文化財の歴史的背景を説明することができるようになること。

【授業計画・方法】

パワーポイント、板書、講義形式をメインとする。
史実や過去に起きた事件等を用いて解説し、討論も行う。

第41回	日本の仏教と神道の関係、飛鳥時代の諸仏
第42回	奈良時代の文化、奈良の大仏、仏像
第43回	奈良時代の建築
第44回	平安時代の文化
第45回	平安時代の文化、平等院鳳凰堂
第46回	鎌倉時代の文化、宗教
第47回	鎌倉時代の建築、彫刻
第48回	室町時代の文化
第49回	鹿苑寺金閣、慈照寺銀閣など
第50回	キリスト教、鉄砲の伝来
第51回	桃山文化、建築
第52回	桃山文化、美術、茶道
第53回	徳川家康と日光
第54回	江戸時代の絵画・工芸
第55回	浮世絵
第56回	能、歌舞伎、文楽
第57回	日本庭園
第58回	近現代の建築
第59回	テスト
第60回	各地の歴史

成績評価方法 授業内活動(参加態度、宿題、レポート等)40%、出席率40%、期末試験 20%

教科書 「新しい社会 歴史」

参考書 適宜、紹介する。

授業に関連する実務経験 あり

授業形態	講義	課程	文化・教養専門課程	学科	通訳・ガイド学科		
		科目名	観光地理	担当教員	増田 剛		
		開講期	1年前期(20)・後期(20) 2年前期(20)・後期(20)	時間数	80	科目区分	必須
【授業概要】							
通訳案内士に必要な観光地理を学習し、日本の自然やの日本文化を育んだ風土について解説する。 観光地の現状、課題などについて、国内の主要な観光地域を事例として解説する。 日本各地の特徴的な自然環境、産業、文化等を解説する。							
【到達目標】							
* 国家試験【通訳案内士試験】の日本地理科目合格レベルの実力に対応できるようになること。 * 「温泉」「自然景観」「工芸品・名産・民謡」「年中行事・文学・歴史」「神社・仏閣・庭園」「交通・テーマパーク」等の観光資源をテーマ別に問題演習の形で示していき、受験に必要な標準的知識を獲得すること。 * 単なる日本地理に関する知識のインプットに終始せず、「観光地理」の面白さを他者に伝えることを目指す。							
【授業計画・方法】							
パワーポイント、板書、講義形式をメインとする。 観光の持つ様々な側面を事例を用いて解説し、討論も行う。							
第21回	北海道 観光地、特産品1						
第22回	北海道 観光地、特産品2						
第23回	東北 観光地、特産品1						
第24回	東北 観光地、特産品2						
第25回	関東 観光地、特産品1						
第26回	関東 観光地、特産品2						
第27回	関東 観光地、特産品3						
第28回	中部 観光地 特産品1						
第29回	中部 観光地 特産品2						
第30回	中部 観光地 特産品3						
第31回	関西 観光地、特産品1						
第32回	関西 観光地、特産品2						
第33回	関西 観光地、特産品3						
第34回	中国・四国 観光地、特産品1						
第35回	中国・四国 観光地、特産品2						
第36回	中国・四国 観光地、特産品3						
第37回	九州・沖縄 観光地、特産品1						
第38回	九州・沖縄 観光地、特産品2						
第39回	テスト						
第40回	観光地としての日本の魅力						
成績評価方法		授業内活動(参加態度、宿題、レポート等)40%、出席率40%、期末試験 20%					
教科書		旅に出たくなる地図日本					
参考書		適宜、紹介する。					

授業に関連する実務経験	あり
-------------	----

授業形態	講義	課程	文化・教養専門課程	学科	通訳・ガイド学科		
		科目名	観光地理	担当教員	増田 剛		
		開講期	1年前期(20)・後期(20) 2年前期(20)・後期(20)	時間数	80	科目区分	必須
【授業概要】							
通訳案内士に必要な観光地理を学習し、日本の自然やの日本文化を育んだ風土について解説する。 観光地の現状、課題などについて、国内の主要な観光地域を事例として解説する。 日本各地の特徴的な自然環境、産業、文化等を解説する。							
【到達目標】							
* 国家試験【通訳案内士試験】の日本地理科目合格レベルの実力に対応できるようになること。 * 「温泉」「自然景観」「工芸品・名産・民謡」「年中行事・文学・歴史」「神社・仏閣・庭園」「交通・テーマパーク」等の観光資源をテーマ別に問題演習の形で示していき、受験に必要な標準的知識を獲得すること。 * 単なる日本地理に関する知識のインプットに終始せず、「観光地理」の面白さを他者に伝えることを目指す。							
【授業計画・方法】							
パワーポイント、板書、講義形式をメインとする。 観光の持つ様々な側面を事例を用いて解説し、討論も行う。							
第1回	概要1 目的						
第2回	概要2 47都道府県、地理用語						
第3回	地域別特徴 北海道の地理、人口 1						
第4回	北海道の地理、人口 2						
第5回	東北の地理、人口 1						
第6回	東北の地理、人口 2						
第7回	関東の地理、人口 1						
第8回	関東の地理、人口 2						
第9回	関東の地理、人口 3						
第10回	中部の地理、人口 1						
第11回	中部の地理、人口 2						
第12回	関西の地理、人口 1						
第13回	関西の地理、人口 2						
第14回	関西の地理、人口 3						
第15回	中国の地理、人口 1						
第16回	四国の地理、人口 1						
第17回	九州の地理、人口 1						
第18回	九州・沖縄の地理、人口 1						
第19回	テスト						
第20回	観光地としての日本の魅力						
成績評価方法		授業内活動(参加態度、宿題、レポート等)40%、出席率40%、期末試験 20%					
教科書		旅に出たくなる地図日本					
参考書		適宜、紹介する。					

授業に関連する実務経験 あり

授業 形態	講義	課程	文化・教養専門課程	学科	通訳・ガイド学科		
		科目名	観光地理	担当教員	増田 剛		
		開講期	1年前期(20)・後期(20) 2年前期(20)・後期(20)	時間数	80	科目区分	必須
【授業概要】							
通訳案内士に必要な観光地理を学習し、日本の自然やの日本文化を育んだ風土について解説する。 観光地の現状、課題などについて、国内の主要な観光地域を事例として解説する。 日本各地の特徴的な自然環境、産業、文化等を解説する。							
【到達目標】							
* 国家試験【通訳案内士試験】の日本地理科目合格レベルの実力に対応できるようになること。 * 「温泉」「自然景観」「工芸品・名産・民謡」「年中行事・文学・歴史」「神社・仏閣・庭園」「交通・テーマパーク」等の観光資源をテーマ別に問題演習の形で示していき、受験に必要な標準的知識を獲得すること。 * 単なる日本地理に関する知識のインプットに終始せず、「観光地理」の面白さを他者に伝えることを目指す。							
【授業計画・方法】							
パワーポイント、板書、講義形式をメインとする。 観光の持つ様々な側面を事例を用いて解説し、討論も行う。							
第61回	栃木県の地理 1						
第62回	栃木県の地理 2						
第63回	栃木県の地理 3						
第64回	栃木県の地理 4						
第65回	栃木県の地理 5						
第66回	栃木県の地理 6						
第67回	栃木県の地理 7						
第68回	栃木県の地理 8						
第69回	栃木県の地理 9						
第70回	栃木県の地理 10						
第71回	案内士試験(地理)過去問題解説等 1						
第72回	案内士試験(地理)過去問題解説等 2						
第73回	案内士試験(地理)過去問題解説等 3						
第74回	案内士試験(地理)過去問題解説等 4						
第75回	案内士試験(地理)過去問題解説等 5						
第76回	案内士試験(地理)過去問題解説等 6						
第77回	案内士試験(地理)過去問題解説等 7						
第78回	案内士試験(地理)過去問題解説等 8						
第79回	テスト						
第80回	観光地としての日本の魅力						
成績評価方法		授業内活動(参加態度、宿題、レポート等)40%、出席率40%、期末試験 20%					
教科書		旅に出たくなる地図日本					
参考書		適宜、紹介する。					

授業に関連する実務経験	あり
-------------	----

授業 形態	講義	課程	文化・教養専門課程	学科	通訳・ガイド学科		
		科目名	観光地理	担当教員	増田 剛		
		開講期	1年前期(20)・後期(20) 2年前期(20)・後期(20)	時間数	80	科目区分	必須

【授業概要】

通訳案内士に必要な観光地理を学習し、日本の自然やの日本文化を育んだ風土について解説する。
観光地の現状、課題などについて、国内の主要な観光地域を事例として解説する。
日本各地の特徴的な自然環境、産業、文化等を解説する。

【到達目標】

- * 国家試験【通訳案内士試験】の日本地理科目合格レベルの実力に対応できるようになること。
- * 「温泉」「自然景観」「工芸品・名産・民謡」「年中行事・文学・歴史」「神社・仏閣・庭園」「交通・テーマパーク」等の観光資源をテーマ別に問題演習の形で示していき、受験に必要な標準的知識を獲得すること。
- * 単なる日本地理に関する知識のインプットに終始せず、「観光地理」の面白さを他者に伝えることを目指す。

【授業計画・方法】

パワーポイント、板書、講義形式をメインとする。
観光の持つ様々な側面を事例を用いて解説し、討論も行う。

第41回	北海道 産業・グルメ1
第42回	北海道 産業・グルメ2
第43回	東北 産業・グルメ1
第44回	東北 産業・グルメ2
第45回	関東 産業・グルメ1
第46回	関東 産業・グルメ2
第47回	関東 産業・グルメ3
第48回	中部 産業・グルメ1
第49回	中部 産業・グルメ2
第50回	関西 産業・グルメ1
第51回	関西 産業・グルメ2
第52回	関西 産業・グルメ3
第53回	中国・四国 産業・グルメ1
第54回	中国・四国 産業・グルメ2
第55回	中国・四国 産業・グルメ3
第56回	中国・四国 産業・グルメ4
第57回	九州・沖縄 産業・グルメ1
第58回	九州・沖縄 産業・グルメ2
第59回	テスト
第60回	観光地としての日本の魅力

成績評価方法	授業内活動(参加態度、宿題、レポート等)40%、出席率40%、期末試験 20%
教科書	旅に出たくなる地図日本
参考書	適宜、紹介する。

授業に関連する実務経験 あり

授業 形態	講義	課程	文化・教養専門課程	学科	通訳・ガイド学科		
		科目名	観光おもてなし	担当教員	増田 剛		
		開講期	1年前期(20)・後期(20) 2年前期(20)・後期(20)	時間数	80	科目区分	必須
【授業概要】							
旅館での仕事(主に客室係、フロント係)について説明し、「おもてなし」の基礎を解説する。 スタッフとしての心構え、身だしなみ、立居振る舞い、言葉づかいを説明し練習する。							
【到達目標】							
*【日本の宿 おもてなし検定】初級・中級レベルの知識をもてるようにする。 *お客様の満足、感動があって成り立つ仕事であることを理解できるようにする。 *旅館が提供する商品、サービスを理解し、即戦力となる社会人を目指す。							
【授業計画・方法】							
パワーポイント、板書、講義形式をメインとする。 就業中の各種トラブルを想定し、対処方法について考える時間を適宜設ける。							
第1回	概要						
第2回	旅館がお客様に提供するもの						
第3回	スタッフとしての心構え 1						
第4回	スタッフとしての心構え 2						
第5回	立居振る舞い 1						
第6回	立居振る舞い 2						
第7回	立居振る舞い 3						
第8回	適切な言葉づかい 1						
第9回	適切な言葉づかい 2						
第10回	適切な言葉づかい 3						
第11回	お客様対応 1						
第12回	お客様対応 2						
第13回	宿泊約款						
第14回	基本業務 1						
第15回	基本業務 2						
第16回	基本業務 3						
第17回	予約の受注から最終確認まで 1						
第18回	予約の受注から最終確認まで 2						
第19回	到着前準備 1						
第20回	到着前準備 2						
成績評価方法		授業内活動(参加態度、宿題、レポート等)50%、出席率50%					
教科書		日本の宿 おもてなし検定 初級テキスト					
参考書		適宜、紹介する。					
		授業に関連する実務経験		なし			

授業形態	講義	課程	文化・教養専門課程	学科	通訳・ガイド学科		
		科目名	観光おもてなし	担当教員	増田 剛		
		開講期	1年前期(20)・後期(20) 2年前期(20)・後期(20)	時間数	80	科目区分	必須
【授業概要】							
旅館での仕事(主に客室係、フロント係)について説明し、「おもてなし」の基礎を解説する。 スタッフとしての心構え、身だしなみ、立居振る舞い、言葉づかいを説明し練習する。							
【到達目標】							
*【日本の宿 おもてなし検定】初級・中級レベルの知識をもてるようにする。 *お客様の満足、感動があつて成り立つ仕事であることを理解できるようにする。 *旅館が提供する商品、サービスを理解し、即戦力となる社会人を目指す。							
【授業計画・方法】							
パワーポイント、板書、講義形式をメインとする。 就業中の各種トラブルを想定し、対処方法について考える時間を適宜設ける。							
第21回	お出迎え、チェックイン						
第22回	お部屋へのご案内、お部屋内のサービス 1						
第23回	お部屋へのご案内、お部屋内のサービス 2						
第24回	お部屋へのご案内、お部屋内のサービス 3						
第25回	お部屋へのご案内、お部屋内のサービス 4						
第26回	お部屋へのご案内、お部屋内のサービス 5						
第27回	団体様打ち合わせ						
第28回	食事提供 1						
第29回	食事提供 2						
第30回	食事提供 3						
第31回	食事提供 4						
第32回	団体様の食事提供 1						
第33回	団体様の食事提供 2						
第34回	滞在中の対応						
第35回	布団敷き、布団上げ						
第36回	朝食提供 1						
第37回	朝食提供 2						
第38回	精算・チェックアウト						
第39回	お見送り 1						
第40回	お見送り 2						
成績評価方法		授業内活動(参加態度、宿題、レポート等)50%、出席率50%					
教科書		日本の宿 おもてなし検定 初級テキスト					
参考書		適宜、紹介する。					

授業に関連する実務経験	なし
-------------	----

授業形態	講義	課程	文化・教養専門課程	学科	通訳・ガイド学科		
		科目名	観光おもてなし	担当教員	増田 剛		
		開講期	1年前期(20)・後期(20) 2年前期(20)・後期(20)	時間数	80	科目区分	必須
【授業概要】							
旅館での仕事(主に客室係、フロント係)について説明し、「おもてなし」の基礎を解説する。 スタッフとしての心構え、身だしなみ、立居振る舞い、言葉づかいを説明し練習する。							
【到達目標】							
*【日本の宿 おもてなし検定】初級・中級レベルの知識をもてるようにする。 * お客様の満足、感動があって成り立つ仕事であることを理解できるようにする。 * 旅館が提供する商品、サービスを理解し、即戦力となる社会人を目指す。							
【授業計画・方法】							
パワーポイント、板書、講義形式をメインとする。 就業中の各種トラブルを想定し、対処方法について考える時間を適宜設ける。							
第41回	おもてなし検定中級の概要						
第42回	お客様ニーズの把握 1						
第43回	お客様ニーズの把握 2						
第44回	お客様ニーズの把握 3						
第45回	お役様ニーズへの対応 1						
第46回	お役様ニーズへの対応 2						
第47回	お役様ニーズへの対応 3						
第48回	ワンランク上のおもてなし 1						
第49回	ワンランク上のおもてなし 2						
第50回	ワンランク上のおもてなし 3						
第51回	ワンランク上のおもてなし 4						
第52回	ワンランク上のおもてなし 5						
第53回	ワンランク上のおもてなし 6						
第54回	ワンランク上のおもてなし 7						
第55回	ユニバーサルサービス						
第56回	ご高齢のお客様等への対応 1						
第57回	ご高齢のお客様等への対応 2						
第58回	ご高齢のお客様等への対応 3						
第59回	ご高齢のお客様等への対応 4						
第60回	ご高齢のお客様等への対応 5						
成績評価方法		授業内活動(参加態度、宿題、レポート等)50%、出席率50%					
教科書		日本の宿 おもてなし検定 中級テキスト					
参考書		適宜、紹介する。					

授業 形態	講義	課程	文化・教養専門課程	学科	通訳・ガイド学科		
		科目名	観光おもてなし	担当教員	増田 剛		
		開講期	1年前期(20)・後期(20) 2年前期(20)・後期(20)	時間数	80	科目区分	必須
【授業概要】							
旅館での仕事(主に客室係、フロント係)について説明し、「おもてなし」の基礎を解説する。 スタッフとしての心構え、身だしなみ、立居振る舞い、言葉づかいを説明し練習する。							
【到達目標】							
*【日本の宿 おもてなし検定】初級・中級レベルの知識をもてるようにする。 * お客様の満足、感動があって成り立つ仕事であることを理解できるようにする。 * 旅館が提供する商品、サービスを理解し、即戦力となる社会人を目指す。							
【授業計画・方法】							
パワーポイント、板書、講義形式をメインとする。 就業中の各種トラブルを想定し、対処方法について考える時間を適宜設ける。							
第61回	ご高齢のお客様等への対応 6						
第62回	ご高齢のお客様等への対応 7						
第63回	ご高齢のお客様等への対応 8						
第64回	料理に関する留意事項						
第65回	外国人旅行者のおもてなし 1						
第66回	外国人旅行者のおもてなし 2						
第67回	苦情対応 1						
第68回	苦情対応 2						
第69回	苦情対応 3						
第70回	非常時対応 1						
第71回	非常時対応 2						
第72回	非常時対応 3						
第73回	非常時対応 4						
第74回	非常時対応 5						
第75回	非常時対応 6						
第76回	後輩社員への指導 1						
第77回	後輩社員への指導 2						
第78回	後輩社員への指導 3						
第79回	約款・関係法令 1						
第80回	約款・関係法令 2						
成績評価方法		授業内活動(参加態度、宿題、レポート等)50%、出席率50%					
教科書		日本の宿 おもてなし検定 中級テキスト					
参考書		適宜、紹介する。					

授業に関連する実務経験	なし
-------------	----

授業形態	講義	課程	文化・教養専門課程	学科	通訳・ガイド学科		
		科目名	宿泊業務	担当教員	増田 剛及びホテル旅館関係者		
		開講期	1年前期(100)・後期(100) 2年前期(100)・後期(100)	時間数	400/400	科目区分	必須

【授業概要】

- ・宿泊業における接客業務、レストラン・サービス業務、フロント業務、広報・企画業務及び安全衛生・その他基礎知識を学ぶ。
- ・座学だけでなく、宿泊業界関係者によるロールプレイなどの活動を通して、実践的能力を養う。

【到達目標】

- ・インバウンド向けサービス需要に対応できるスキルを磨く。
- ・多様化する宿泊業界の即戦力となるプロフェッショナルを育成。

【授業計画・方法】

- ・PC、書画カメラ、板書等を用いた講義形式をメインとする。
- ・宿泊業務の必要な知識についての調べ学習を行い、プレゼンテーションやロールプレイを行う。
- ・インバウンド需要による様々な側面を事例を用いて解説し、討論も行う。

第1～10回	宿泊業における安全衛生・その他基礎知識(基礎編)
第11～20回	宿泊業におけるレストラン・サービス業務(基礎編)
第21～30回	宿泊業における接客業務(基礎編)
第31～40回	宿泊業におけるフロント業務(基礎編)
第41～50回	宿泊業における広報・企画業務(基礎編)
第51～60回	宿泊業における安全衛生・その他基礎知識(実践編)
第61～70回	宿泊業におけるレストラン・サービス業務(実践編)
第71～80回	宿泊業における接客業務(基礎実践編)
第81～90回	宿泊業におけるフロント業務(基礎実践編)
第91～100回	宿泊業における広報・企画業務(基礎実践編)
第101～110回	宿泊業における安全衛生・その他基礎知識(応用編)
第111～120回	宿泊業におけるレストラン・サービス業務(応用編)
第121～130回	宿泊業における接客業務(応用編)
第131～140回	宿泊業におけるフロント業務(応用編)
第141～150回	宿泊業における広報・企画業務(応用編)
第151～160回	宿泊業における安全衛生・その他基礎知識(応用実践編)
第161～170回	宿泊業におけるレストラン・サービス業務(応用実践編)
第171～180回	宿泊業における接客業務(応用実践編)
第181～190回	宿泊業におけるフロント業務(応用実践編)
第191～200回	宿泊業における広報・企画業務(応用実践編)

成績評価方法	授業内活動(参加態度、宿題、レポート等)40%、出席率40%、期末試験 20%
教科書	オリジナルテキスト
参考書	適宜、紹介する。

授業に関連する実務経験 **あり**

授業形態	講義	課程	文化・教養専門課程	学科	通訳・ガイド学科		
		科目名	日本文化・社会理解	担当教員	各講師		
		開講期	1年前期(20)1年後期(20) 2年前期(20)2年後期(20)	時間数	80	科目区分	必須
【授業概要】							
日本における観光の中心テーマは、古代から現代にいたる日本文化に根ざした文化遺産であり、太古から受け継がれた自然遺産である。また、それらが日本人の生活を、どのように支えてきたかを、理解することでもある。日本文化・社会理解は、基本的に、日本文化・社会の土台を理解することであり、グローバル化する現代社会にあって、その価値を判断し、これを内面化する対象としていくことである。							
【到達目標】							
1、日本文化のさまざまな態様を調べ、ときに鑑賞することで理解を深める。 2、グループ活動によって研究し、学びあい、理解を深める。 3、メディアを利用し、日本社会を、より深く捉える。							
【授業計画・方法】							
各回の授業時数を2時間とする。 パワーポイント、板書、講義形式での授業を展開する。 グループ活動による相互学習により、理解と関心を高める。							
1年前期	第1回～第2回	①寺と神社の違い ②出雲大社と伊勢神宮 ③ 法隆寺と東大寺 ④仏像					
	第3回～第4回	①日本の庭園 ②回遊式庭園 ③枯山水					
	第5回～第6回	①着物 染色 織物					
	第7回～第8回	新聞で知る日本社会					
	第9回～第10回	テレビで知る日本社会					
1年後期	第11回～第12回	①日本の家屋(和室の要素 畳、床の間) ②お茶 ③生け花 ④和食					
	第13回～第14回	①日本の城					
	第15回～第16回	①日本の絵画・和紙 ②マンガのルーツ ③ 浮世絵					
	第17回～第18回	新聞で知る日本社会					
	第19回～第20回	テレビで知る日本の社会					
2年前期	第21回～第22回	①能 狂言 ②歌舞伎の世界					
	第23回～第24回	①日本の祭り					
	第25回～第26回	①陶磁器 ②折り紙の世界					
	第27回～第28回	新聞で知る日本の社会					
	第29回～第30回	テレビで知る日本の社会					
2年後期	第31回～第32回	グループ学習その1 レポート課題(日本の文化・社会について考えること)					
	第33回～第34回	グループ学習その2					
	第35回～第36回	グループ学習その3					
	第37回～第38回	日本の文化・社会についての話し合い					
	第39回～第40回	日本の文化・社会について考えること(レポート完成)					
成績評価方法		授業内活動(参加態度、宿題、レポート等)40%、出席率40%、期末試験 20%					
教科書		中学生用教科書 新しい歴史(東京書籍) 新聞 テレビ番組など					
参考書		適宜、紹介する。					
		授業に関連する実務経験		あり			

授業 形態	講義	課程	文化・教養専門課程	学科	通訳・ガイド学科		
		科目名	ビジネスマナー	担当教員	中島 / 秋元		
		開講期	1年前期（20）・後期（20） 2年前期（20）・後期（20）	時間数	80時間	科目区分	必須

【授業概要】
社会で活躍するための一般常識、ビジネスにおけるのマナーを習得する。この授業は日本文化の授業を兼ねており、自国文化との比較を通して違いを発見し、その後実践、定着させる。パソコンを使って基本的な日本語入力での書類作成や、ビジネスシーン別での対応方法を学ぶ。

【到達目標】
・パソコンでは、ひらがな、カタカナ、漢字、記号等を使い分けながら、スムーズに入力できるようになる。 ・履歴書データを作成する。 ・ビジネスにおける、突発的に訪れる様々な場面で、落ち着いて対処できるようになる。 ・敬語に対しての苦手意識を克服し、普通体との使い分けが自然にできるようになる。

【授業計画・方法】
パワーポイント・板書での講義形式と、実践、ロールプレイングをメインとする。

1年前期	第1回 ～ 第5回	パソコンの使い方（日本語入力）
	第6回 ～ 第10回	パソコンの使い方（日本語入力） / 履歴書作成
	第11回 ～ 第15回	履歴書作成
	第16回 ～ 第20回	履歴書作成
1年後期	第21回 ～ 第25回	ビジネスマナーの基本（挨拶、お辞儀、身だしなみ、基本動作、日常生活を含む日本文化・協調性理解の大切さ）
	第26回 ～ 第30回	電話対応マナー/会話のマナー（言葉遣い 21～25回で習得した基本マナーと合わせて言葉遣いも取り入れ、実践）
	第31回 ～ 第35回	電話対応マナー/会話のマナー（言葉遣い 21～25回で習得した基本マナーと合わせて言葉遣いも取り入れ、実践）
	第36回 ～ 第40回	応対マナー（席次のマナー、案内のマナー、訪問のマナー、紹介のマナー、カウンター対応マナー、名刺の取り扱い）
2年前期	第41回 ～ 第45回	進路指導（面接指導）
	第46回 ～ 第50回	進路指導（面接指導）
	第51回 ～ 第55回	進路指導 /ユニバーサルサービス、クレーム対応、報告・連絡・相談
	第56回 ～ 第60回	進路指導 /ビジネス文書の作成（社内及び社外向け文書の作成、Email文書の作成、Email送信のルール
2年後期	第61回 ～ 第65回	進路指導 /日本社会の仕組み 契約・お金編（労働契約・福利厚生・有休休暇・公共料金・税金）
	第66回 ～ 第70回	進路指導 /日本社会の仕組み 付き合い編（冠婚葬祭・お祝い・お見舞い・パーティー・和洋中基本・接待マナー）
	第71回 ～ 第75回	進路指導 /入社に向けての準備（言いやすく覚えやすい自己紹介、意気込み）
	第76回 ～ 第80回	進路指導 /ホテル・レストラン・旅行案内ツアーガイドの業務を想定して、ロールプレイで実践練習

成績評価方法	授業内活動（参加態度、宿題、レポート等）60％、出席率40％
教科書	新人ナビ、ハートフルビジネスマナー、観光ホスピタリティ読本、就活ガイド等、その他適宜採用
参考書	適宜、紹介する。

授業に関連する実務経験	あり
-------------	----